

Cコース

一ともだちになる本を

見つけましょう。

ともだちになる本って、どんな本でしょう。



1 自分のしたことなどと、にている本

2 自分のしたことなどと、ちがうところがある本

3 自分も、本に出てくる人のような気持ちになつたことがある本

4 もし、自分だったらどうするかな、と思つたり考へたりした本

5 うれしくなつたり、たのしくなつたりした本

6 知らないことを教えてくれた本

7 先生や家の人すすめてくれた本

みんなは、ともだちになる本が

見つかったでしょうか。



二 どんなふうにして、友達になる本を見つけたら、
よいでしよう。

【本を見つけるヒント】



- 1 表紙（ひょうし）や本のだいが気に入った本
- 2 さしえや写真が気に入った本
- 3 目次などをみて、おもしろそうに思った本
- 4 友達がすすめてくれた本
- 5 ちょっと読んでみて、気に入りそうな本
- 6 教科書などに出てくる作者（さくしゃ）が書いた本
- 7 まえがきやあとがきが気に入った本



三 感想文（かんそうぶん）を書いてみましょう。
どんなことを書けばよいか、ちよつと、考えて
みましょう。

- 1 その気持ちは、よくわかるよと思うこと
- 2 やさしい気持ちになったこと
- 3 うれしい気持ちになったこと
- 4 おもしろかったこと
- 5 初めて知ったこと
- 6 もっと知りたいと思ったこと
- 7 ふしぎなことだと思ったこと
- 8 よく考えるようなことがあったこと
- 9 感心（かんしん）したこと
- 10 自分がしたことなどと同じようなこと



1 から **10** のようなことを
書いていくと、

感想文ができあがっていきますね。



四 ともだちの感想文を読んでみましょう。

鳴門教育大学附属小学校の

神野有亮さんが、書いた感想文です。



一ばんはじめは、つぎのように書いてありました。

この本読み始めてすぐに、ぼくは家の近くにある助任川（すけとうがわ）を見に行った。橋の上から見ると、ゴミはそんなに見えなかったが、水面近くへ下りてみると、とう明や色のうすいビニールがいくつも流れていた。

これをかいた神野さんは、本を読んできたことをはじめに書いています。

こんなふうに、したことを、はじめに書くのも、いいですね。

そして、まん中くらいの
ところには、つぎのように
書いています。



この本を読んで、三つ学んだことがある。一つは、プラスチックゴミについては、まだあまり研究が進んでいないと言うこと。

（間を、すこし、はぶきます）

二つ目は、化学せんいで作られたふくを洗たくするだけでも、プラスチックのせんいが流れていくということ。

（間を、すこし、はぶきます）

三つ目は、プラスチックをリサイクルすることは大切だけど、そのために、どのくらいねん料や水など、ほかのしげんをつかうまで考えないと意味がないということ。

（あとに続きますが、はぶきます）

神野さんのように、「三つ」、
「一つ目は」、「二つ目は」、
「三つ目は」というように、
一つずつまとめしながら
書いていくことも、できますね。



さいごに、神野さんは、自分で考えたことを、
書いています。

(ゴミが)りくの上にあるうちに、正しくしよ
りできるよう、みんなが心がけながらプラスチッ
クを利用していくことがかい決につながっていく
と思う。

考えたことをさいごに書くと、自分が考えたこと
が、読んでいる人にもはっきりとわかりますね。

みなさんもたくさん本を読んで、感想文を書いて
みてくださいね。

Dコース

一 友達（ともだち）になる本を

見つけましょう。友達になる本との出会いが大切です。友達になる本とは、次のような本ですね。



1 心を動かされた本

2 感動（かんどう）した本

3 自分が考えたり思ったりしていることとつながりのある本

4 自分に行っている登場人物（とうじょうぶつ）（とうじょうじんぶつ）が出てくる本

5 自分が考えたり思ったりしていることとちがう本

6 新しいことを知らせてくれるような社会や科学の本

こんな本を見つけてみましょう。

二 友達になる本が決まったら、次のようなことを考えてみましょう。……………のところに、自分でこ
とばを入れてみましょう。

- 1 登場人物の○○に言いたいことは……………
- 2 この本と友達になって、考えが変わったこ
とは……………
- 3 この本の登場人物に教えてもらったことは
……………
- 4 この本に教えてもらって、これから自分が
していきたいことは……………
- 5 はじめて知ったことは……………
- 6 調べたり知ったりしたいと
思ったことは……………
- 7 この本と友達になって、
よく考えてみたことは……………



※ うまくことばは入りましたか。

三 二の1から7のほかにも、自分が考えたことや
思ったことなどの理由や説明もあると、すばらし
いと思います。たとえば、次のようなことを書い
てみましょう。

1 自分のしたこととにていると

思うのは、………だからです。

2 もし、自分だったら………

すると思うからです。

3 自分の考えとちがうと

思うのは………だからです。

4 ためしに見てみると………でした。

5 どうして調べたかという………だからです。

6 どうしてそう思ったかという………

………だからです。

7 わたしが考えたことを

くわしく言うと………ということです。



四 ニや三の1から7をメモにしてみましょう。

メモをしておく、感想文を書くときに役に立ちますね。

そのほかにも、次のようなことも、メモにしておきましょう。

【メモをすることの例】

- 1 心に残った会話
- 2 心に残ったことば
- 3 心に残った文
- 4 その物語などの心に残るできごと
- 5 心に残った理由



このメモを、つなぎ合わせたり、書く順序（じゅんじょ）を考えたりしてみましよう。

そうして、書いていくと、感想文ができあがりますね。



五 感想文の例をのせておきます。読んでください。

【感想文の例】

イソギンチャクとヤドカリが助け合って生活をしている。私は、はじめて「ヤドカリとイソギンチャク」を読んだとき、こんなことがあるなんて、信じられませんでした。

ソメンヤドカリというヤドカリは、ベニヒモイソギンチャクというイソギンチャクを、多いときには九つも付けているそうです。こうして、ヤドカリがイソギンチャクを付けていることが、「助け合い」だと書いてありました。

どうして、こんなことが助け合いになるのか、よく読んでみました。そうすると、信じられないことが書いてありました。

ヤドカリがイソギンチャクを付けていると、タコに食べられないそうです。そして、イソギンチャクは、ヤドカリにくっついていると、えさがい

っぱい食べられるそうです。だから、助け合いになっっているのだと、はじめてわかりました。

私にも、助け合いができる友達があります。友達のひろみさんは、とってもやさしくて、私が重い物を持っているときには、すぐに来て、やさしく、「半分、私が持つね。」

と言ってくれます。私も、ひろみさんが、困っているときには、すぐに助けに行きたくなります。ひろみさんのほかにも、私には、助け合いができる友達が、クラスいっぱいいます。だから、とっても幸せです。

自然の中に生きているヤドカリとイソギンチャクも、きっと同じように幸せだろうと思います。助け合いは、人間も生き物も、同じように幸せにしてくれる「幸せのたから物」です。

※ この感想文は、「ヤドカリとイソギンチャク」（「新しい国語 四上」大阪書籍）を読んで書いています。